

主催 日本農学アカデミー・実践総合農学会

特別シンポジウム 東日本大震災の被害の実態と復興のシナリオ

日時 2011年7月9日(土) 13:00-17:00 (12:00受付開始)

場所 東京農業大学百周年記念講堂

(ねらい) 2011年3月11日。我々は、日本の歴史に永遠に残る、未曾有の東日本大震災の証言者となった。日本農学アカデミーと実践総合農学会は、東日本大震災の被災地域の人々の日常生活を1日も早く取り戻すためには、農林水産業の復興が不可欠であるとの共通認識のもとで、想像を絶する被害の全貌を正しく発信するとともに農林水産業の復興のためのシナリオをどのように描くか、人々に農学からのメッセージを伝え、理解と批判をいただく。

シンポジウム趣旨説明

東京農業大学教授 駒村正治

第1報告 農地・水利施設等の農業生産基盤への被害実態と復旧・復興

(独)NARO農村工学研究所 所長 日本農学アカデミー会員 高橋 順二

第2報告 農耕地の塩害対策と土壌・ゼオライト中のセシウムの挙動

ー相馬市におけるイチゴハウスの塩害復興シナリオを中心にー

東京農業大学 教授 後藤 逸男

第3報告 放射線汚染と食品安全性(風評被害を含む)

(独)NARO食品総合研究所 所長 日本農学アカデミー会員 林 清

第4報告 農業経営への被害と復興シナリオー東京農業大学緊急プロジェクトー

東京農業大学教授 日本農学アカデミー会員 門間敏幸

パネルディスカッション：震災からの復興と新たな農業経営の展望ー農業後継者大いに語るー

司会 東京農業大学客員教授 日本農学アカデミー会員 中川昭一郎

藤田直弘(栃木県 酪農経営)、三上哲一(栃木県 いちご経営)、本田奈津子(千葉県 野菜経営)、面川常義(宮城県 稲作経営)、佐藤克美(宮城県 養豚経営)、猪俣優樹(福島県 米穀販売)

連絡先 日本農学アカデミー事務局 (財)日本学術協力財団 担当 南 TEL:03-5410-0242 FAX:03-5410-1822
実践総合農学会事務局 東京農業大学 総合研究所 TEL 03-5477-2532 FAX 03-5477-2634